

# 県内経済の動き

## 概況

〔2022年3月～2022年5月の動き〕

### サービス消費の回復が期待される一方、耐久消費財は供給不足が続く

鉱工業生産指数（3月）は5カ月ぶりに前年同月比低下、通関輸出額（4月 細島港）は2カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（4月 全店ベース）は7カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（5月）は9カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（4月）は4カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（5月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（4月）は前月比▲0.01ポイントの1.40倍で、5月の企業倒産は前月比1件減の1件、負債額は同3億25百万円増の3億64百万円となった。

新型コロナ感染者は5月にピークアウトし、ゴールデンウィーク以降、観光・飲食業に回復がみられる。部品の供給不足により乗用車販売等は減少が続いている。